

令和〇年〇月△日

岐阜県立東濃特別支援学校
校 長 下野 誠司 様

〇〇市立〇〇小学校
校長 東濃 太郎

令和7年度 特別支援学校センター的機能充実事業
に係る職員の訪問報告書

標記事業に係る訪問を受けましたので、報告します。

日 時	令和 〇年 〇月 △日(水) 8時 30分～ 12時 30分
派遣先	名 称:〇〇小学校 住 所:〇〇市〇〇町××番地の1 TEL :0572-××-〇〇〇〇
派遣者	地域支援センター長 山下智弘
訪問内容	学習面での困難さを抱える〇年生児童への指導・支援の仕方や、保護者へのアプローチの仕方について、指導や助言をしていただいた。 授業の様子や、本人のノートやプリント、絵等の制作物や、教室環境を見ていただき、今後の取り出し指導の仕方や通常学級での指導支援の仕方についてアドバイスをいただいた。 また、通常学級担任には、本児を含めユニバーサルデザインに基づいた子どもたちの居場所づくりについてお話をいただいた。
その後 (1ヶ月後をメ ドに) の状況等	取り出し指導では、いろいろな物の名前を覚えたり、ひらがなを読んだりして言葉に親しみを覚える指導をしている。また、担当者と休日にあったことをお話したり、風船バレー等体を動かしたりする活動を行い、楽しみながら通っている様子がある。 また、通常学級担任にご挨拶し、 全校の先生方に伝え、通常学級へ 〈以下、聞きたいこと〉 ・前向きな様子で登校をし る姿が増えてきた。が、それ い(抱きついたり、頬ずりを 友だちとの関わりでは「近いよ」と伝えて適切な距離をとれるのだが、教師との関わりについては、関係性をせっかく築けたので、受け入れるべきなのか悩んでいます。 ※うまくいった支援、うまくいかなかった支援、やってみたけどポイントがわからない支援等、率直に書いていただけると、次回の訪問支援の参考になりありがたいです。